



歌声と笑顔輝く 曾野木小学校

校長 中村 香

4月9日(木)の入学式から新1年生48名が加わり、全校児童349名で令和8年度の曾野木小学校がスタートしました。現在、子どもたちは、入学または進級し、日々新たな気持ちで学校生活に臨んでいます。一人一人が楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、そして、自分らしさを発揮できるように、教職員が一丸となって指導・支援に努めてまいります。

曾野木小学校では、教育目標である「共に高まる」姿の実現を目指して、子どもに付けたい資質能力を明確に据えながら、「学びの力」「心の力」「体の力」の育成のために次のことに重点を置いて取り組みます。

① 学びの力の育成 ～すすんで学習する子～

友達と関わりながら対話を通して自分の考えを深め、学びの実感を促すとともに、学習内容をしっかりと身に付けるようにしていきます。

② 心の力の育成 ～じっくりかかわる子～

学級内活動だけでなく、児童会活動や、青空班活動等の異学年交流を通して、友達の「よさ」に気づき、互いに認め合い、価値付けしながら自己肯定感・有用感を醸成していきます。

③ 体の力の育成 ～ただしく生活する子～

望ましい生活習慣を身に付けるとともに、めあてをもって運動等に取り組むことで、困難なことにもくじけない、しなやかでたくましい心と体を鍛えていきます。

このように、教育活動全般を通じて身に付けさせたい力を明確にし、子どもたちが自分らしさを発揮して一人一人が輝く存在となるよう努めてまいります。

保護者ならびに地域の皆様、これからも、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。



♪ 全校朝会では今年度も引き続き、校長講話の中で、「全校音楽ミニ授業」を行っていきます。季節や学校行事に関連した曲を教材として、聴いたり歌ったり身体表現したりしながら、思考力・表現力を育成します。

始業式冒頭では昨年度の学びを生かして、「♪春が来た」を音楽の仕組み「『呼びかけ』と『こたえ』」に着目しながら、みんなで歌い合わせました。そして、「♪さくら さくら」(日本古謡)の演奏を箏とピアノで聴き比べながら、日本音階の特徴を感じ取ることもできました。春の気分を味わい、輝く笑顔と素敵な歌声が体育館いっぱい響き渡りました。これからも、笑顔あふれ、みんな仲良くさわやかな学校生活を送ってほしいという願いを込めました。